



オンライン試験の導入を検討中の企業に聞いた！
導入時に重視したいポイント

通常調査 | 企業におけるオンライン試験の導入

「試験中のトラブルが起こらない」を抑え、
第1位は・・・？



オンライン試験の導入に関する意識調査

調査期間：2024年3月11日～同年3月12日

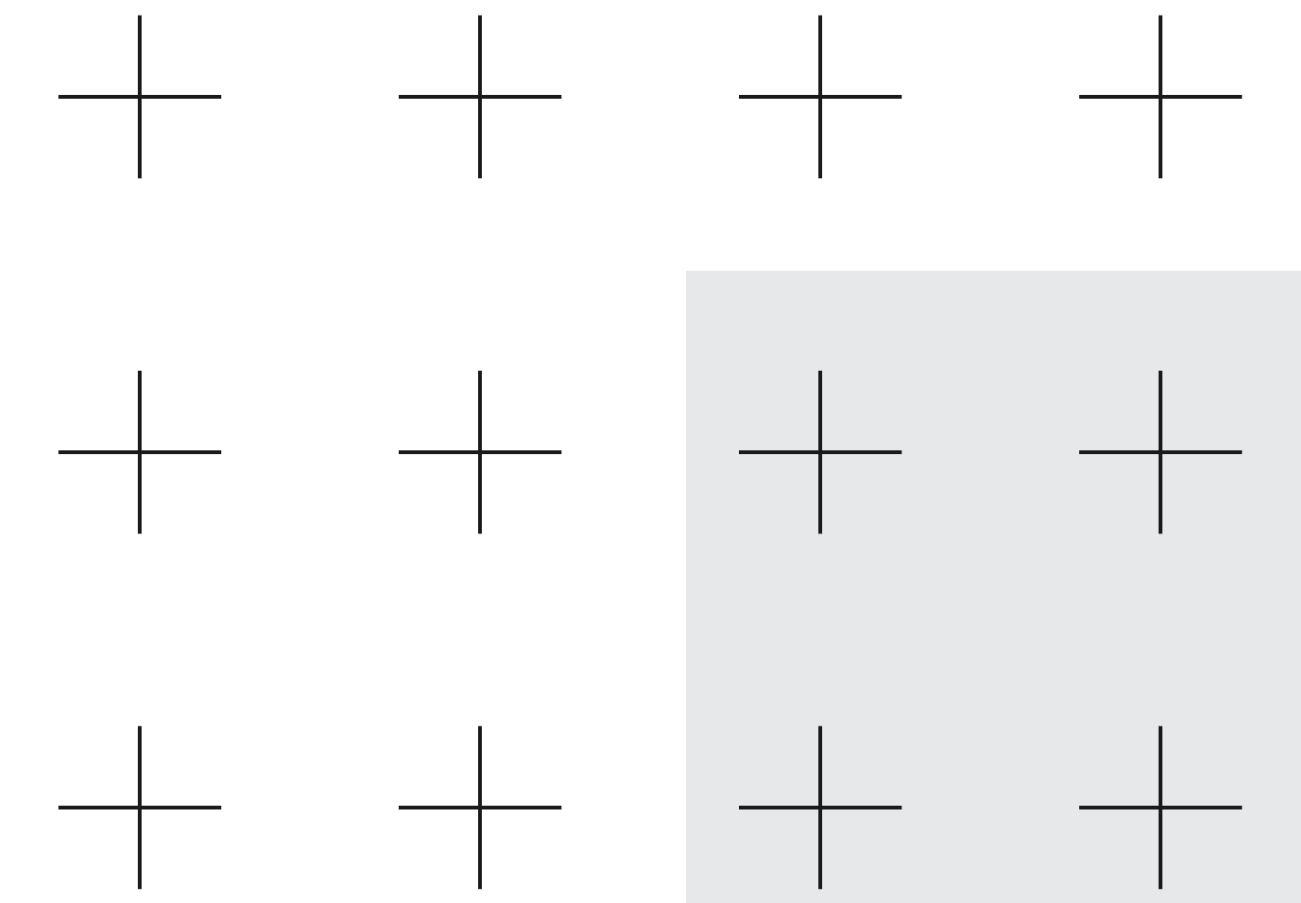


株式会社イー・コミュニケーションズ
e-communications, Inc.

Copyright © e-communications, Inc.

調査概要

Research Outline



・調査実施者

株式会社イー・コミュニケーションズ

・調査概要

オンライン試験の導入に関する意識調査

・調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画によるインターネット調査

・調査期間

2024年3月11日～同年3月12日

・有効回答

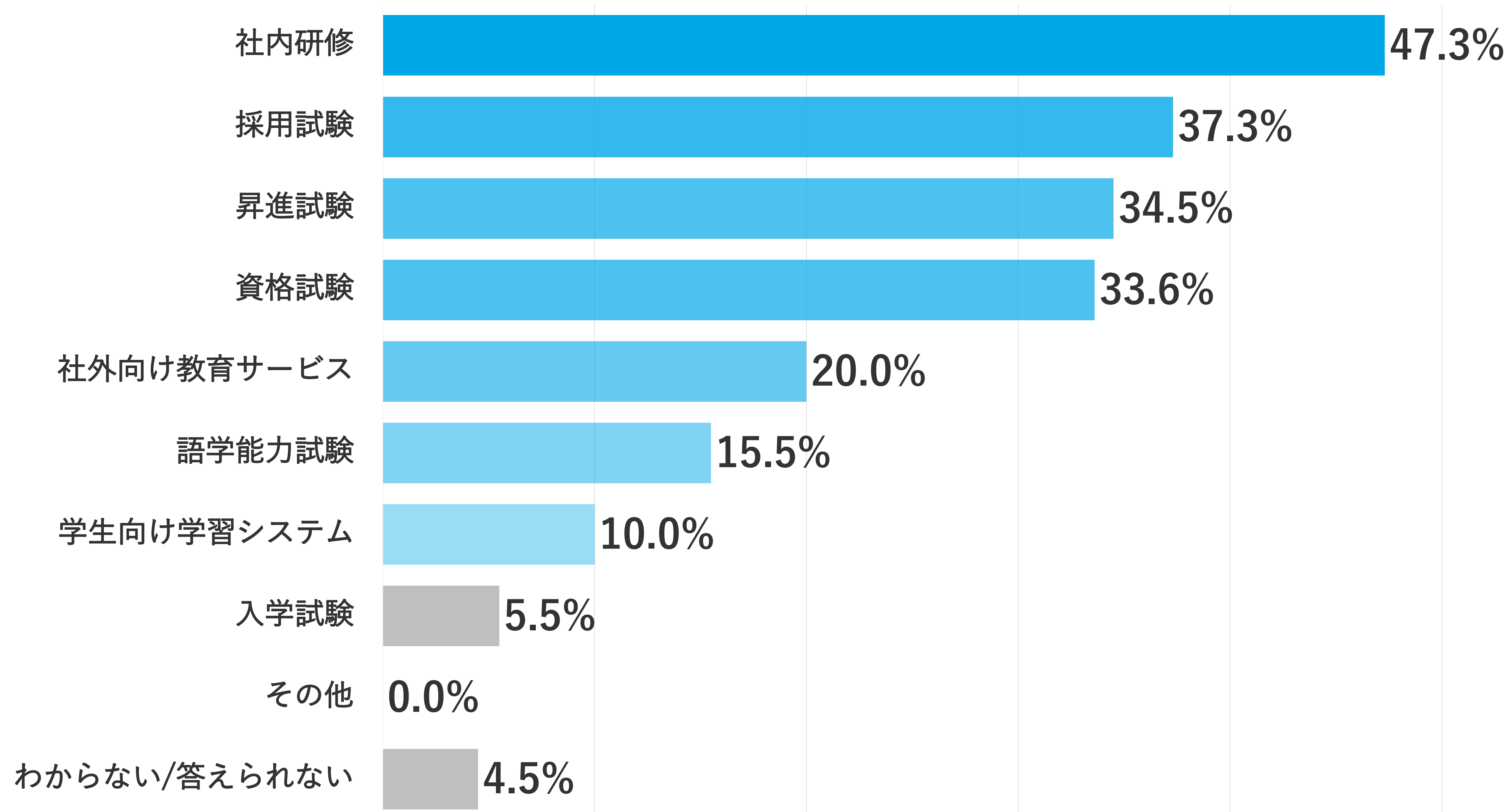
資格・検定試験、社内試験のオンラインでの実施を検討している企業の担当者110名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。



Q1

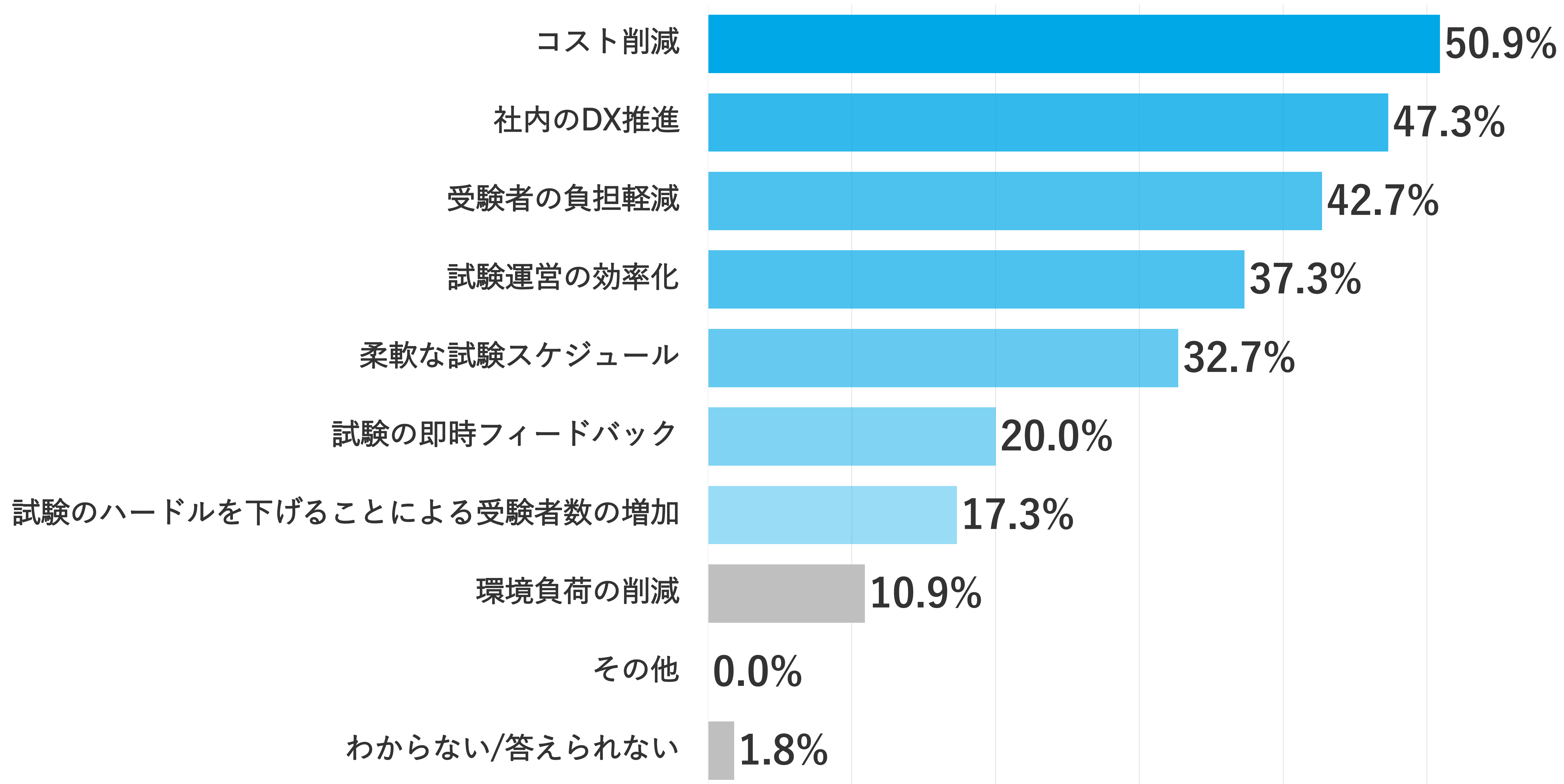
オンライン試験を導入する際の主な目的を教えてください。
(複数回答)



オンライン試験を導入する際の主な目的に、
「社内研修」や「採用試験」などが上位にあがりました。

Q2

オンライン試験の導入を検討している理由を教えてください。 (複数回答)



オンライン試験の導入を検討している理由に、
「コスト削減」や「社内のDX推進」などが上位にあがりました。

Q3

Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。

Q2で回答した以外に、オンライン試験の導入を検討している理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

<自由回答・一部抜粋>

57歳

結果がすぐにわかる。

36歳

学習意欲の向上。

47歳

気軽に参加できる事で参加者増加推進。

51歳

移動時間の短縮化。

52歳

業務効率化の推進。

28歳

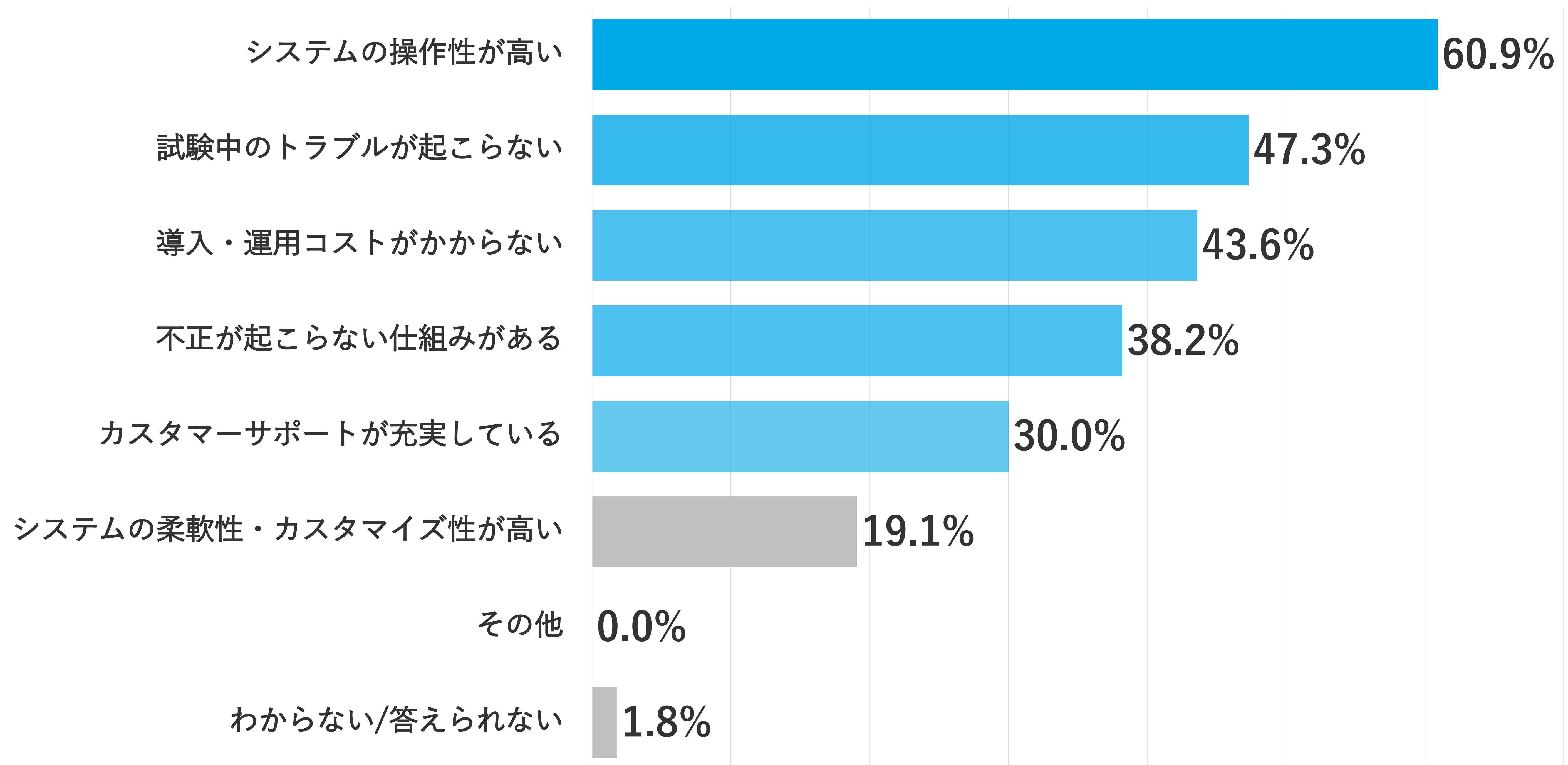
工数の削減。

59歳

時間、場所の制約を受けないから。

Q4

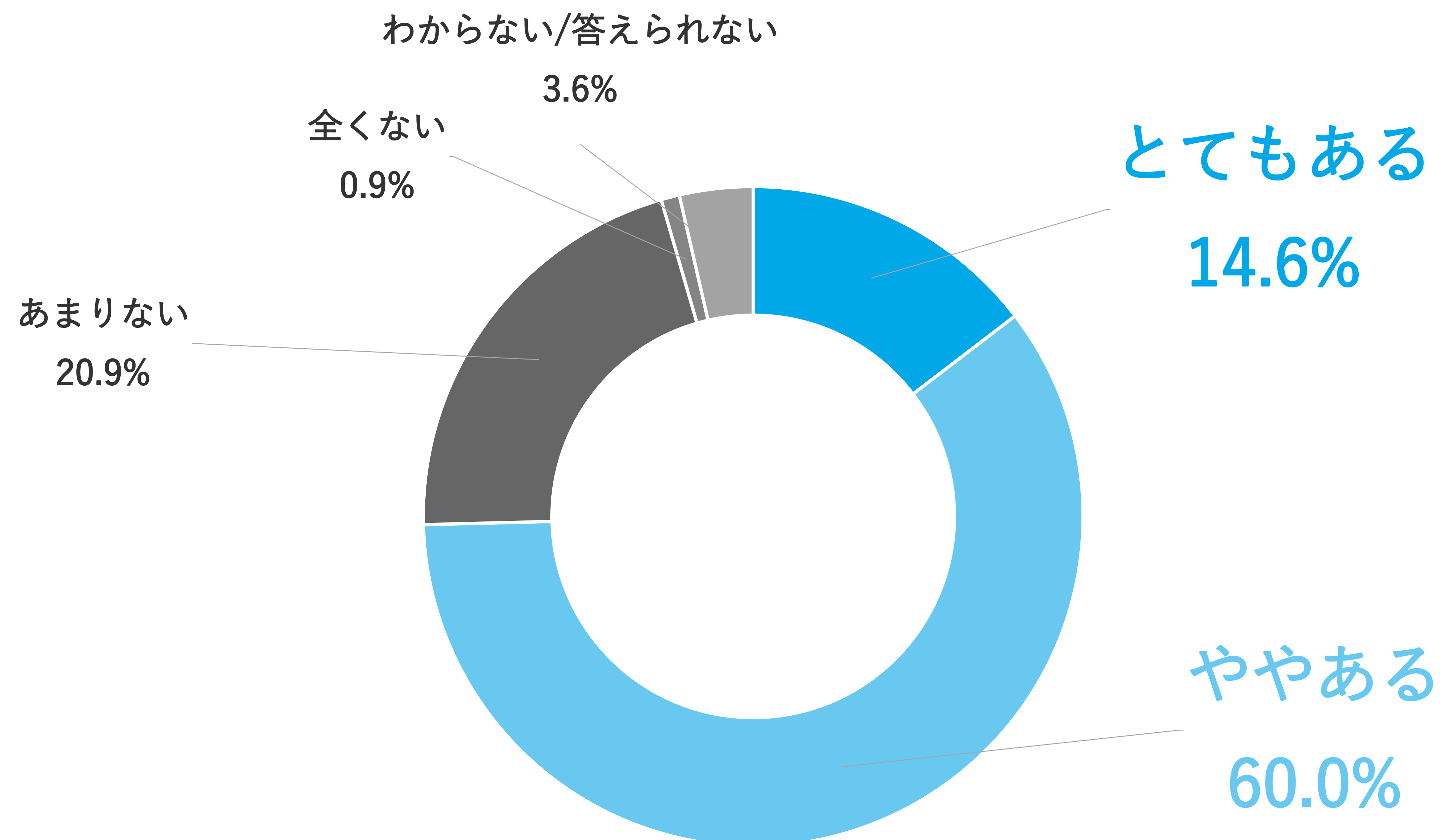
オンライン試験を導入する上で、
重視したいポイントを教えてください。（複数回答）



オンライン試験を導入する上で重視したいポイントは、
「システムの操作性が高い」が60.9%で最多となりました。

Q5

オンライン試験を導入する上で、懸念点がありますか。

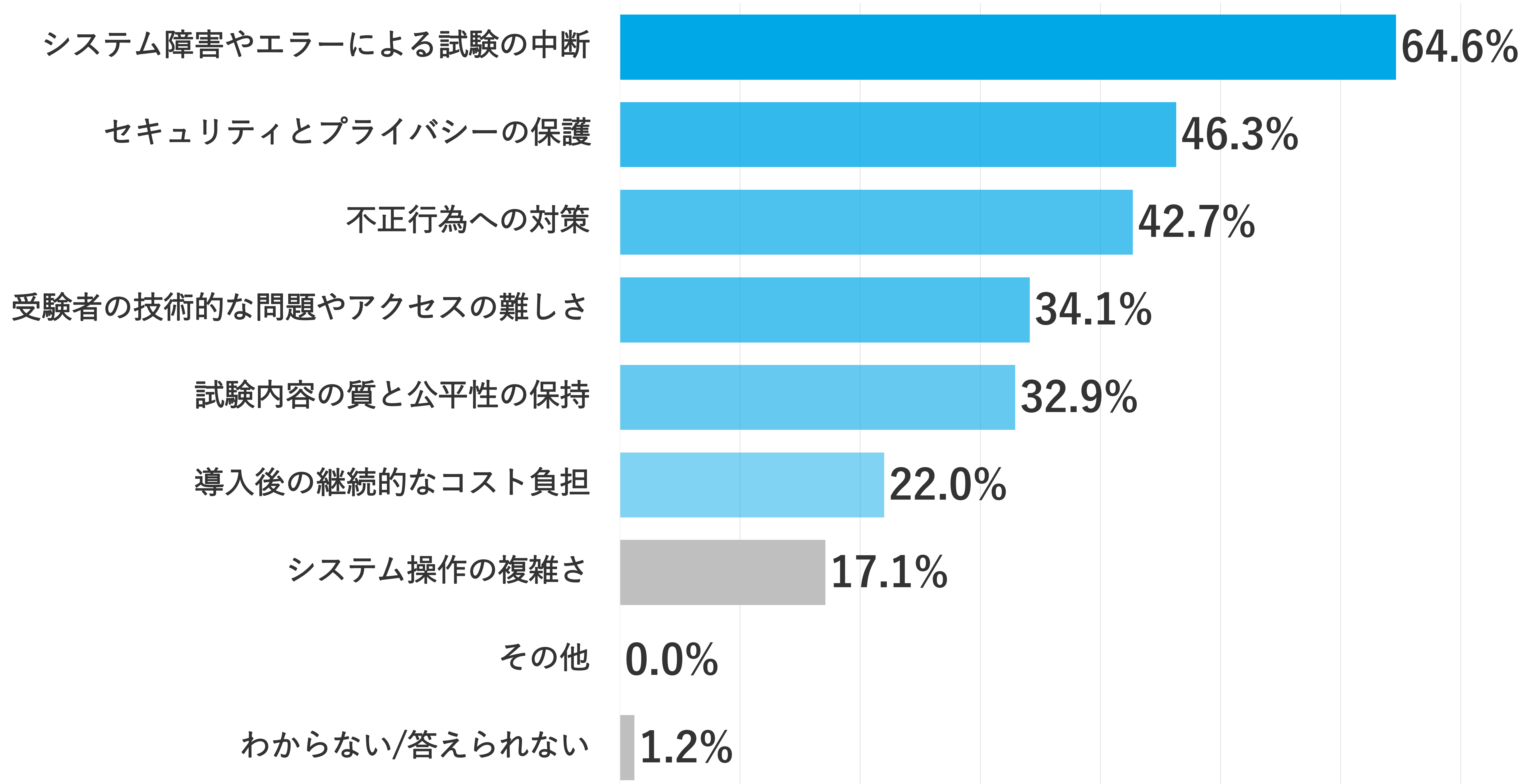


74.6%が、オンライン試験を導入する上で、「懸念点がある」と回答しました。

Q6

Q5で「とてもある」「ややある」と回答した方にお聞きします。

オンライン試験を導入する上で、懸念していることを具体的に教えてください。（複数回答）



オンライン試験を導入する上で懸念していることは、「システム障害やエラーによる試験の中断」が64.6%で最多となりました。

Q7

Q6で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。

Q6で回答した以外に、オンライン試験を導入する上で、懸念していることがあれば、自由に教えてください。（自由回答）

<自由回答・一部抜粋>

47歳

あらゆる媒体で参加可能か。

42歳

不正回答が行われないか。

52歳

操作環境の確立及び維持管理。

41歳

費用。

51歳

操作性。

33歳

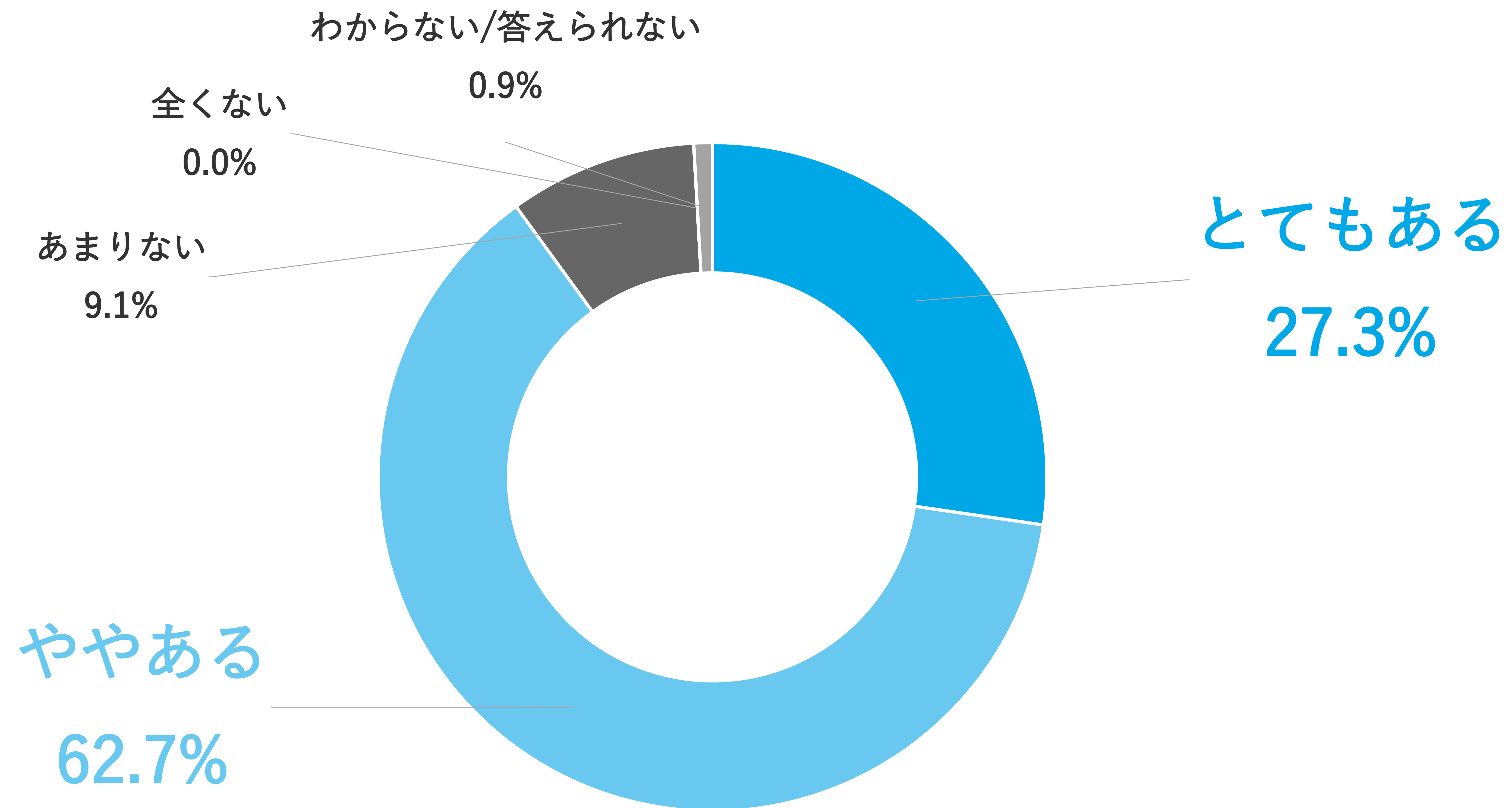
経営層の理解。

43歳

最近のAI技術による不正行為があるかもしれないこと。

Q8

あなたは、試験専用のAIを活用しオンラインテストをより厳正・厳格に行えることで、リモート受験を可能にする、オンラインリモート監視システムに興味がありますか。

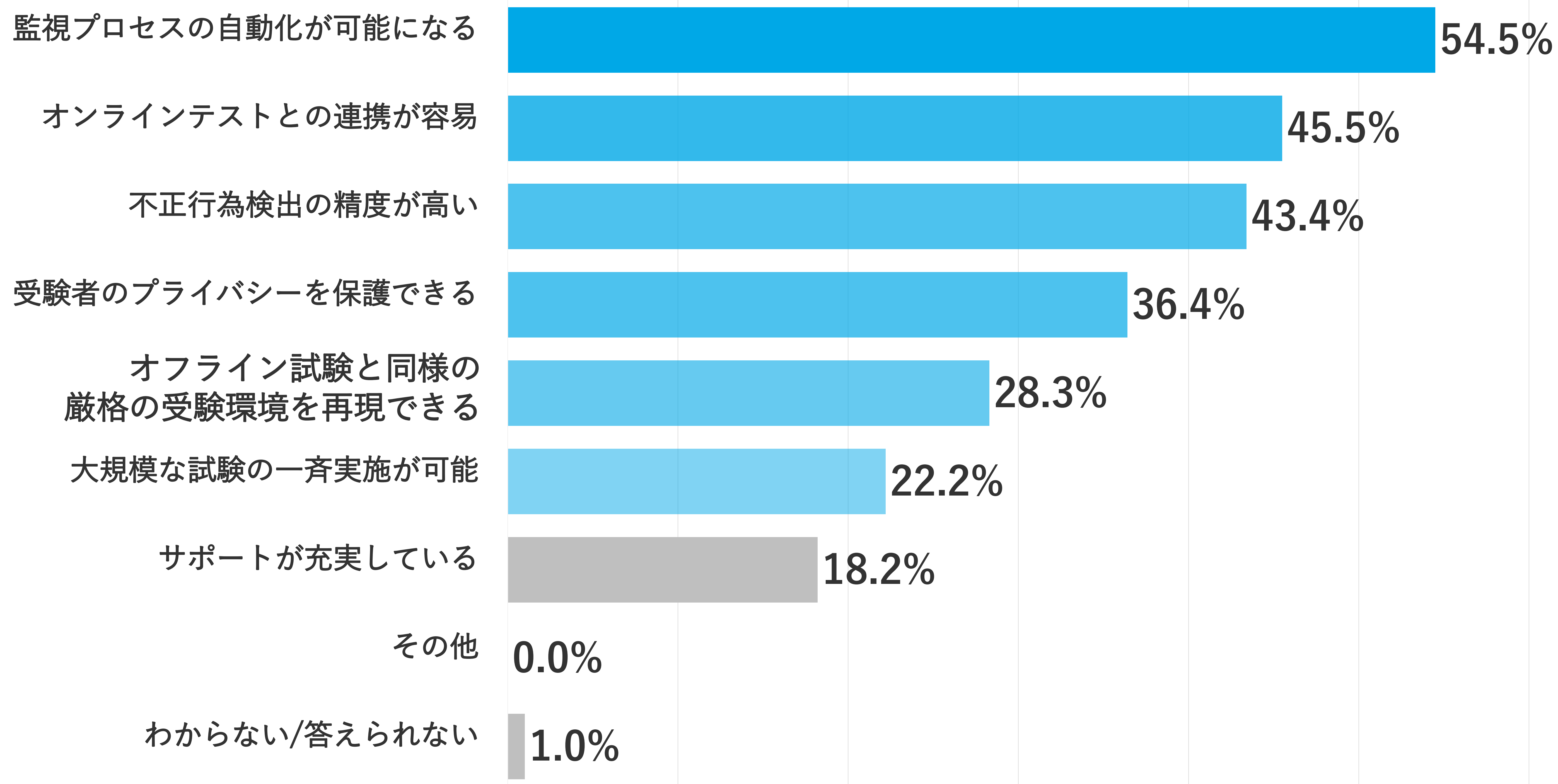


9割が、試験専用のAIを活用しオンラインテストをより厳正・厳格に行えることで、リモート受験を可能にする、オンラインリモート監視システムに「興味がある」と回答しました。

Q9

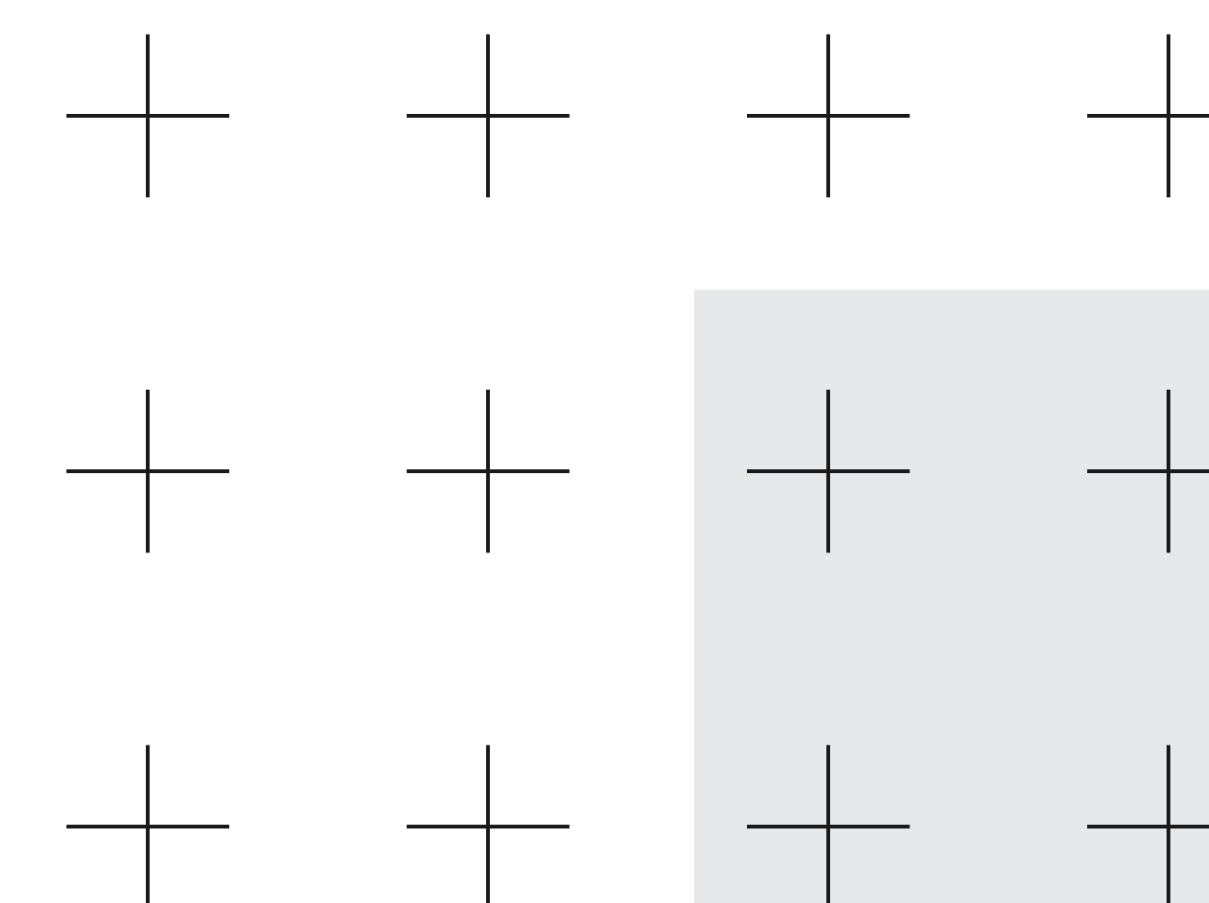
Q8で「とてもある」「ややある」と回答した方にお聞きします。

オンラインリモート監視システムにどのような機能を求めたいですか。（複数回答）



オンラインリモート監視システムに求めたい機能は、「監視プロセスの自動化が可能になる」が54.5%で最多となりました。

オンラインテストの不正を抑止。 新たな受験環境を提供する「Remote Testing」とは



「Remote Testing」とは、オンラインテストの不正を抑止し、新たな受験環境を提供できるリモート監視サービスです。オンラインテストを厳正・厳格に行える試験専用のAIを活用したリモート監視ソリューションで、オンラインテストに「Remote Testing」を加えることで、会場型CBTと同等の受験環境をご提供します。

Webカメラで受験者を録画、録画された動画をAIが自動解析し、不正と思われる挙動を検知するなど、受験時の不正抑止・防止が可能です。



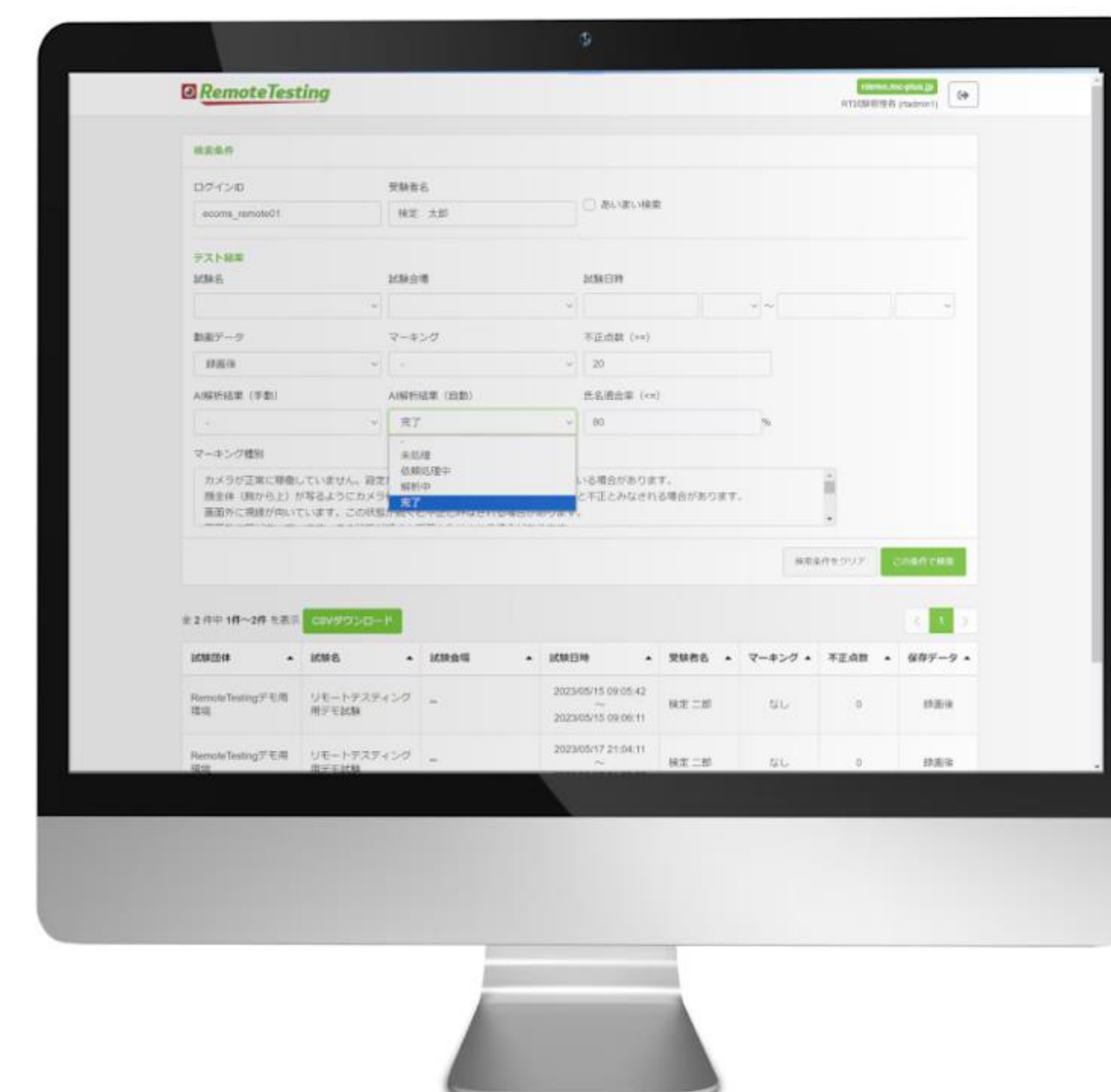
オンラインテストの不正を抑止。 新たな受験環境を提供する。

動作環境はこちら >

お問い合わせ >

発表会のレポートはこちら >

定期メンテナンススケジュール >



当社IBTシステム「MASTER CBT PLUS」と標準連携しているため、オンラインによるリモート型CBTがすぐに始められ、リモート受験環境をすばやくご提供することができます。

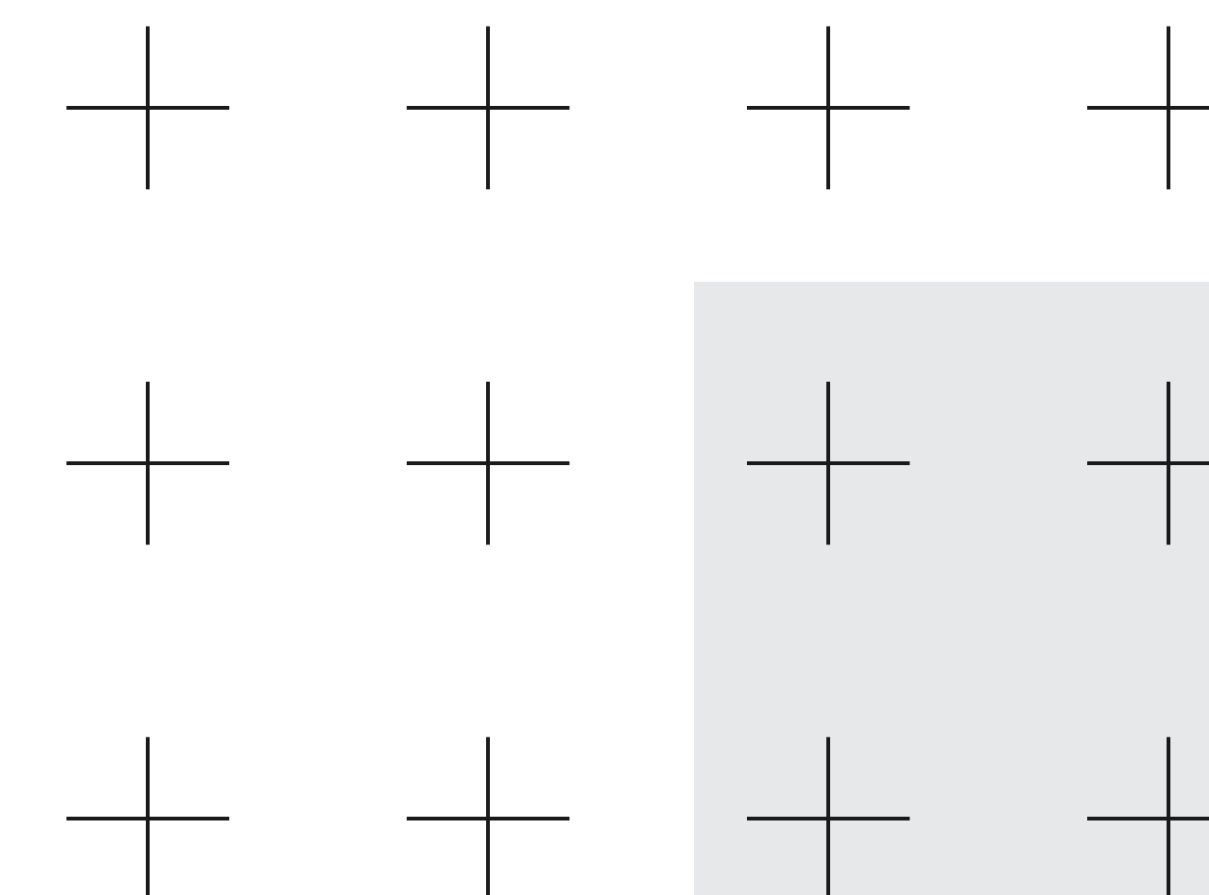
また、これまでの導入実績から、運用の設計や、導入もご支援いたします。

一斉試験は同時5,000まで対応が可能のため、オンラインテストで社内試験の同日同時刻実施ができ、同時に不正を防止することができます。また、テストセンター型CBTの申込時に、リモート受験を選択できるため、受験者に多くの受験環境を提供することができます。

詳しくはこちら：<https://www.e-coms.co.jp/business/remote-monitoring>

お問い合わせ

Contact



株式会社イー・コミュニケーションズ
e-communications, Inc.

・企業名

株式会社イー・コミュニケーションズ

・TEL

03-3560-3901

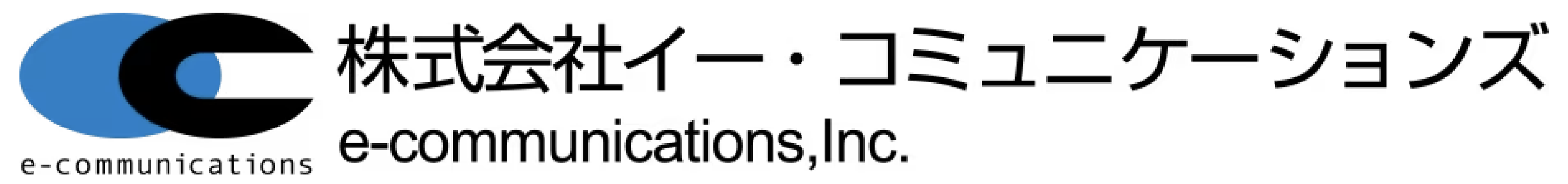
・WEB

<https://www.e-coms.co.jp/>

・会社住所

〒106-0032

東京都港区六本木7丁目15-7 新六本木ビル SENQ六本木704



株式会社イー・コミュニケーションズ

e-communications, Inc.